

○第8話 子牛と王妃

- ・話の終りの方で、子牛が駕籠から飛び出すところを、
牛小ぬ？？飛ん出て、大騒動。
- の？？が聞き取れませんでした。
- ・「王様」を「おうさま」と言ってますが、「を一さま」の誤りです。
- ・酒を飲んで酔うのを「い一ゆん」と発音していますが、正しくは「ゐ一ゆん」です。
- ・まだまだ、長音を聞き取るのに苦労しています。

んかし んかし すい うぐしく しちゃ ちるー ゆ ちゅ いなぐ うや
昔、昔、首里ぬ御城ぬ下んかい、鶴んで言るいっぺー清らさるみやらびぬ、女ぬ親と
たいくら いなぐ うや めーにちすぬひやんうたき いぬ
二人暮ちょーいびーたん。女ぬ親一、毎日園比屋武御嶽んかい祈とーいびーたん。

うかみがなしー ちるーてんがいちしやわ いんむし く
母親 御神御那志、どーでん、鶴天下一幸しにないよう縁結ばって呉みそーり。

らないむら じんむ く むん たるー ちるー ちゅ うわさち すい ち
隣村ぬ錢持ちぬ子、ふゆーな者ぬ太郎、鶴ぬ清らさる噂聞ち、首里まで来やーびたん。

しんじんぶか かんげーうびん ち
太郎 はっはー、信心深さるはーめーやす。えー、いー考 覚出じや來やん。

たるー み とくる くちゅくい
太郎や、見ーらん所から声作さびたん。

わ すぬひやんうたき うかみ にげ ち い く けー みち
太郎 我んねー、園比屋武御嶽ぬ御神やん。やー願ーや、聞ち入ったん。此りから帰ゆる道なか
はじ いちゃ いきが ちるーをと ね いきが
初みて行逢たる男、うりが鶴夫とし、似合一ぬ男やす。

うかみがなしー とー
母親 うー、御神御那志ぬみしぇーる通いさびーん。にふーでーびる。

いなぐ うや けー みち ちるー むく いちゃ くと あち
女ぬ親一、帰ゆる道、鶴ぬ婿んかい行逢いる事、？？うっさうっさーし歩よーいびーたぐ
たら、あまから太郎ぬ来ゆーん。

たるー くにいちばん むん や たるー ちるー むく
母親 く、くぬ太郎ーが？国一番ぬふゆーな者で言つとーる太郎が、鶴ぬ婿なー！

すぬひやんうたき うかみがなしー い ち まむ ちるー たるー ゆみな くと かくご
やしが、園比屋武御嶽ぬ御神御那志ぬ言い付き守て、鶴や、太郎ぬ嫁成いる事、覚悟さびた
ん。

ゆみ い ゆる ちゅ みーゆみしがた ちるー いなぐ うや わか えーさち か かぐ ぬ
嫁んかい行ちゆる夜、清らさる新嫁姿ぬ鶴、女ぬ親と別りぬ挨拶交わち、駕籠んかい乗やび
すぬひやんうたき めーとー くろ いわ ざきわた ぬ かぐかた さき
たん。園比屋武御嶽ぬ前通いる頃、祝い酒腹ぬみ一飲だる駕籠担みーや、酒んかいゐーて、
にーぶいさびーん。

ねー りゅうちゅう ゆる ひる
駕籠かき 何んち、琉球ぬにーびちえー、夜すがやー。昼やれー、にーぶいさんむんぬ。
うーーん。

ゆる ゆなか ちやー
鶴 くんな夜、夜中、如何すがや。 . . 。
(以下略)